

## 禅と日本庭園

— 日本人の美意識、価値観と禅芸術 —

講師 = 柘野俊明<sup>マスノ シュンミョウ</sup>(建功寺住職 庭園デザイナー 多摩美術大学教授)  
 時間 = 18:30 ~ 20:00  
 受講定員 = 30人  
 受講料 = 5,000円

参考書：『禅と禅芸術としての庭』柘野俊明著（毎日新聞社）  
 ¥2,000（税込）  
 [希望者には第1回受付で販売します。]

### スケジュール

- ① 6月 8日（月）日本の美と禅
- ② 6月15日（月）禅と禅芸術としての庭①
- ③ 6月22日（月）禅と禅芸術としての庭②

### 講座内容

日本庭園は、1000年を越す歴史を持ちますが、禅の影響を抜きにその歴史を語ることはできません。禅の思想的影響により生まれたのが「枯山水」という独特な形式の庭園です。13世紀後半から16世紀半ばまで、禅僧たちは自ら積極的に庭園を造りました。その禅と日本庭園の関係を掘り下げ、禅芸術の美がどのように庭園に注ぎ込まれて「禅の庭」を生んだのかを探りたいと思います。そして、禅によって築き上げられた日本の美意識や価値観とはどのようなものなのか。さらには、それがどのように日本の庭園のなかに生きているのか等を中心にしながら、併せて講師自らの作品も紹介します。

### 講師プロフィール

1953年、横浜市生まれ。曹洞宗徳雄山建功寺住職・庭園デザイナー。多摩美術大学環境デザイン学科教授、ブリティッシュ・コロンビア大学特別教授。代表作品はセルリアンタワー東急ホテル日本庭園（東京都渋谷区）、ベルリン日本庭園『融水苑』など多数。『禅の庭：柘野俊明の世界』（毎日新聞社）等の作品集、『夢窓疎石 日本庭園を極めた禅僧』（NHK ブックス）をはじめ著書多数。『芸術選奨文部大臣新人賞』、カナダ政府より『Meritorious Service Medal』（カナダ総督褒章）、ドイツ功労勲章十字功労小綬章等を受賞。